

正覚寺だより

スジャータ

75

令和6年(2024)
元旦発行

スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である



今年は

浄土宗 開宗850年

総本山・知恩院参拝

4月12・13日(金・土)



昨秋 五重相伝満行記念

[住職のつぶやき]

善因善果

— 少女達との面接 —



[住職のつぶやき]

善因善果

— 少女達との面接 —

住職／山縣 正紀



(1)

東広島市にある女子の少年院、貴船きふね原ぼら少女苑で教誨師きょうかいし（注①を参照）をしている。教誨には、集団教誨と個人教誨の2通りある。

個人教誨の中で、まったく宗教儀礼とくの伴わない面接が次第に増えていき篤志面接委員とくしめんせついいん（注②を参照）も依頼されることになった。略して篤面（トクメン）と言われる。

どちらもボランティア活動だが、教誨師として、或いはトクメンとして、毎月2回程度少女苑に通っている。

(2)

ひとりの少女に対して月に1回、1時間程の面接を出苑するまでに5回から8回ぐらい行う。中には、2週間に1度の面接を26回繰り返した少女もいた。

気になることも批判しないで、まず少女達と同じ目線で話をよくよく聞く。意見をするのではなく十分に聞く。

少女達は、お互い自由に会話するこ

とも許されていない。学校や一般社会ではあり得ないほど厳しい規則や、制約の中で収容生活を送っているのも、私と二人だけの面接室で自由に話せることは、気分転換にもなるのだと思う。

不満やイライラ、また将来の夢など色々話してくれるので話題は尽きない。

(3)

沢山の少女達に接してきたが、その多くが劣悪で厳しい境遇の中に育っていた。例えば、

- 複数の義父の間に異父兄弟姉妹がいるような複雑な家庭。
 - 酒や煙草は公認、時には薬物まで手に入るような家庭環境。
 - 暴力や性的な行為など、愚悪に導く男性との出会い。
- など想像を超えた過去があって心を痛める。

もちろん少女達自身にも問題はあるのだが、多くは育った環境と出会った人達が違っていれば、また別の生き方も出来ただろう。と思わせるごく一般的な明るい少女達である。

注釈

注①：教誨師（きょうかいし）

刑務所や少年院などに収容されている人達に講話をし、又亡くなった家族や被害者の供養のために読経などを行う宗教者のこと。

注②：篤志面接委員（とくしめんせついいん）

絵画、書道や音楽の指導など色々な支援活動を行う民間人のこと。

住職はカウンセラーとして個人面接を行っている。

面接を重ねて行くうちに、
 「ここ少女苑に来て良かった」
 「あの時、捕まらなかったら今頃は、
 もっとひどいことになっていた」
 「もう2度とはしたくない」
 と、そんな言葉が聞けるようになるのは嬉しい。考え方も健全に前向きに変化して来る。

教誨師やトクメンは、少女達の出苑後、彼女達にはまったく関わらない。それが決まりである。

少女達のその後の人生を、全く知り得ないので私は常に、
 「人生は始まったばかり、やり直せる」
 「必ず幸福になって欲しい」
 と、気持ちを強く伝えている。

(4)

教誨や面接でいつも話しているのは、
 「これからの人生の中で、老若男女を
 問わずいい人に出会って欲しい」

ということである。

これからの出会いが、彼女たちの今後の人生を大きく左右すると思うからだ。

そして私達大人も、それは同じだと思う。

「いい人は、いい人に出会う」
 「優しい人は、優しい人に出会う」
 「素敵な人は、素敵な人に出会う」
 「笑顔の人は、笑顔の人に出会う」
 などなど、逆もまた真なり。

「自分が変われば、相手も変わる」

そして、
 「善因善果、悪因悪果」

善い原因(出会い)は良い果報を招き、
 悪い原因(出会い)は悪い結果が伴う。

少女苑に通う中で、私自身が学ぶことがとても多い。



謹賀新年

令和六年元旦

今年もよろしくお願ひいたします

正覚寺だより「スジャータ」は年頭の賀状も兼ね、全檀信徒にお送りしますので、昨年ご不幸があったご家庭にも年賀として届く失礼をお許し下さい。



春のお彼岸

3月20日(祝・水) ■ 朝10時より

講師：京都府・常光庵
 叢 健太 師



宮本 文博 総代 昨年末にご勇退

平成13年より23年間の長きにわたり、正覚寺の総代を務めて下さいました。その間、種々の行事や境内整備事業などに献身的にご協力頂き、誠に有難うございました。心よりお礼申し上げます。

今後とも、どうぞご健勝にお過ごし下さい。

田中 宗弘 新総代のご紹介

宮本様の後を受けて、(株)芝岡産業 代表取締役の田中宗弘様が新春より新しく総代を務めて下さることになりました。

色々とお世話になることと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



田中 宗弘 新総代

仏法を 伝える ご じゅう そう でん 五重相伝

— 短期集中 仏教講座 —

昨秋11月3日から3日間 開催しました

- 浄土宗の教えを、皆さんにお伝えする最大かつ最善の法要です。
- 藤沢市から参加された〇さんからのお便りの一部を紹介させていただきます。



- 年を重ねて身も心も不安の増す日々ですが、多くの法然上人さまのお話が心にしみました。これからの生きる道をはっきりと教えて頂きました。
- とても感動深く、前回とは全く別の心の平安を頂きました。感謝でいっぱいの日々です。



次回の開催は5年後、令和10年(2028)の予定です
ぜひご参加下さい

感

謝

録

4月までのおもな行事

1月	13日	(土)	10:00～	写経の会	13:30～	入門ヨガ	
	20日	(土)			13:30～	入門ヨガ	
2月	3日	(土)	10:00～	写経の会	13:30～	入門ヨガ	
	17日	(土)			13:30～	入門ヨガ	
3月	2日	(土)	10:00～	写経の会	13:30～	入門ヨガ	
	16日	(土)			13:30～	入門ヨガ	
	20日	(土)	10:00～	春彼岸会			
4月	6日	(土)	10:00～	写経の会	13:30～	入門ヨガ	
	12日	(金)	～13日(土) 京都・知恩院へ参拝				
	20日	(土)			13:30～	入門ヨガ	

- 毎月、第3土曜日に開催していた「土曜塾」は、しばらくの間休会いたします。
- 第1土曜日に行われている「写経の会」にお参り下さい。写経をする
と共に、お念仏もお称えし、ご希望のご回向もいたします。
- ヨガの教室は引き続き、第1第3土曜日に行います。
- その時間帯は「フリースペース 1・3土曜」として、庫裡なども解放
しておりますのでご自由にお使い下さい。

ぜひ
アクセス!!



正覚寺
ホームページ



法要の
ライブ・録画
配信ch

令和5年 檀家会費・会計報告

(単位：円)

収入の部

支出の部

年会費・一口 3,000円
受付・11月末日まで随時

- 送金には郵便振替が便利です。

口座番号・01300-5-13754
加入者名・浄土宗 正覚寺

- 近くの郵便局にある振替用紙をご利用下さい。
- ご持参頂ければ、お彼岸などの法要の時にも受付しております。

- 昨年も、皆さまのご協力をいただき、誠に有難うございます。
- 今まで未加入の方々にも、今年よりご加入下さい。よろしくお願いいたします。

京都・知恩院に お参りしましょう

～令和6年4月12・13日(金・土)の1泊2日～

総本山知恩院で行われる浄土宗開宗850年慶讃法要に参拝します。あわせて春爛漫の京都を楽しみたいと思います。

詳しい旅程表などは2月末にお届けいたしますので、どうぞご参加下さい。



慶讃法要参拝者の利便性向上のため、大殿正面に設置された仮設のスロープ

首都圏在住の方々のための

東京法要 9月1日(日)

=港区の大本山 増上寺にて=

親子兄弟などで東京近辺在住の方がおられましたらご連絡下さい。ご希望の方には案内状をお送りいたします。



令和6年	一周忌	3回忌	7回忌	13回忌	17回忌	23回忌	25 [※] 回忌	27回忌	33回忌	37回忌	50回忌
年 回 表	令和5年亡	令和4年亡	平成30年亡	平成24年亡	平成20年亡	平成14年亡	平成12年亡	平成10年亡	平成4年亡	昭和63年亡	昭和50年亡

※25回忌は、される方とされない方があります。

あ と が き

○夜討ちにあった漆間時国は、

「報復は報復を生じて尽きることがない。父が討たれた恨みは捨てて出家せよ」

「そして互いに救われる道を求めて欲しい」

と幼い武士の子、後の法然上人に言葉を残して亡くなった。

○その法然上人が浄土宗を開かれて850年という大きな節目を迎えました。

○その時代も疫病が蔓延、災害が頻発、戦が絶えず人心が荒廃していたと言います。

○当時とよく似た今の時代、法然上人の教えに学ぶところが多いと思います。



発行所／〒737-0033 呉市寺本町2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ／0823-21-6086 Eメール／shoukaku@orange.ocn.ne.jp

F A X／0823-22-9922 郵便振替／01300-5-13754